

| | | |
|---|--------------|-----|
| 科目名称： | 障害児保育研究 I | |
| 担当者名： | 中村 明成、和泉 美智枝 | |
| 区分 | 授業形態 | 単位数 |
| 専門教育科目 | 演習 | 1 |
| 授業の目的・テーマ | | |
| 課題図書を活用し、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションで、理解を深める。実習 I IIを通してケースカンファレンスを実施し、事例研究を深める。保育計画、保育内容、保育評価にも着目し、研究成果としてまとめる。障害児保育を視点として自らの保育観の形成につなげていく。 | | |
| 授業の達成目標・到達目標 | | |
| 課題図書の理解を深める。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションの力量を高める。「障害児」だけでなく、子どもの発達と同関連していくかを理解する。 | | |

| 幼児教育学科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
|--------|---|------|
| DP (1) | 建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。 | |
| DP (2) | 優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。 | |
| DP (3) | 幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。 | |
| DP (4) | 学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。 | ○ |

| 評価方法/ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ 小テスト | 提出課題 (レポート含む) | その他 | 合計 |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| 幼児教育DP (1) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP (2) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP (3) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP (4) | 50 | | 50 | | 100 |
| | | | | | 100 |

| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載） | |
|--------------|--------------------------|-----------------|
| あり | 《内容 1》（中村）障害者支援施設支援員 | 《経験年数 1》11年10か月 |
| | 《内容 2》（和泉）障害児・者支援施設支援員 | 《経験年数 2》2年 |
| | 《内容 3》 | 《経験年数 3》 |
| | 《内容 4》 | 《経験年数 4》 |

| 評価ルーブリック | すばらしい | とてもよい | よい | 要努力 |
|----------|-------|-------|----|-----|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間（分） |
|---|------------------------|-------------|
| 第1回 オリエンテーションと学習の進め方 | 課題図書を読んでおく | 240分 |
| 第2回 課題図書についての読書会個人まとめ | 読書会シートの記入 | 120分 |
| 第3回 課題図書についての読書会グループ別討議(グループワークとディスカッション) | 読書会シートに補足事項を書き加える | 30分 |
| 第4回 課題図書についての読書会グループ別討議(グループワークとディスカッション) | 他の学生の意見を補足記入する | 30分 |
| 第5回 全体でのグループ別発表(プレゼンテーション) | 他の学生の意見を補足記入する | 30分 |
| 第6回 全体でのグループ別発表とまとめ(プレゼンテーション) | 自分の担当以外の章をまとめ、シートに記入する | 30分 |
| 第7回 課題図書発表後個人レポート作成 | 自分の担当以外の章をまとめ、シートに記入する | 30分 |
| 第8回 課題図書発表後個人レポート作成 | 課題図書を再度読み込む | 30分 |
| 第9回 現場参加先の調整と事前学習 | 課題図書を再度読み込む | 30分 |
| 第10回 障害児保育・統合保育の実際 | 現場参加先の情報を調べておく | 30分 |
| 第11回 その他の障害児(者)向けの福祉サービスのあらし | 実習での体験を振り返る | 40分 |
| 第12回 障害児(者)に関する法制度、発達検査法、用語についての文献調べ | 文献を調べておく | 40分 |
| 第13回 文献調べの発表(プレゼンテーション) | 調べた内容をノートにまとめる | 30分 |
| 第14回 ふりかえりレポート作成 | 他の学生の文献調べを補足記入する | 30分 |
| 第15回 授業全体のまとめと後期に向けて | 授業全体の内容を振り返る | 30分 |
| <p>事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては、授業開始までに課題図書を読み込み、読書会シートを記入しておくこと。図書館での文献調べをする。</p> | | |
| <p>成績評価の方法・基準</p> <p>定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>定期試験50% 授業でのレポート作成50%。</p> | | |
| <p>課題に対してのフィードバック</p> <p>ディスカッションには、教員も加わり、それぞれの学生の理解を深める。ふりかえりレポートで、授業への理解を確認する。</p> | | |
| <p>教科書・参考書</p> <p>赤ちゃんと脳科学 小西行郎 集英社新書</p> | | |